

令和7年度に実施したワークショップのまとめ

広島県では、県内企業がカーボンニュートラル（以下、CN）の取組を着実に進められるよう多様な支援を展開しています。令和7年度は県内企業の取組状況や課題に合わせて、以下4テーマのワークショップを開催しました。

- ・カーボンニュートラルの意見交換及び施策立案
- ・県内企業とソリューション事業者のマッチング促進
- ・製品カーボンフットプリントや欧州規制の対応
- ・採用市場へのブランディング

県内企業の状態

脱炭素活動の必要性がないと感じている

取組む必要性を理解し、算定・削減活動に取組み始めている

投資が必要となる排出量削減活動も推し進めている

サプライチェーン間で連携して、CFP算定や規制対応に取り組んでいる

カーボンニュートラルの取組により企業価値が高まっている

ワークショップテーマ

テーマ①
カーボンニュートラルの意見交換及び施策立案

テーマ②
県内企業とソリューション事業者のマッチング促進

テーマ③
製品カーボンフットプリントや欧州規制の対応

テーマ④
採用市場へのブランディング

(次ページへ続く)

・カーボンニュートラルの意見交換及び施策立案

本ワークショップは、県内企業が自社の取組状況を振り返り、CNに向けた次の施策を検討するための知識やきっかけを得ることを目的としました。CO₂排出量削減に向けた具体的な施策事例や補助金制度の紹介に加え、参加企業同士が自社の現状や課題、取組内容を共有しながら議論するグループディスカッションを行いました。企業規模や業種を越えて意見を交わすことで、自社だけでは気づきにくい施策のヒントや、他社の工夫を学ぶ機会となりました。

・県内企業とソリューション事業者のマッチング促進

本ワークショップは、CNの施策実行に課題を抱える県内企業と、解決策を提供するソリューション事業者とのマッチングイベントです。省エネ機器、再エネ設備、CO₂の可視化ツールなど、県内企業の様々な課題解決に資するソリューション事業者にご参加いただきました。県内企業は、各事業者から製品・サービスの特長や導入効果について説明を受けながら、自社の現状や課題を踏まえた意見交換が行われました。ワークショップ後、現地視察や見積取得など、より具体的な検討段階へと進んでいる企業も多く見られました。

・製品カーボンフットプリントや欧州規制の対応

製品カーボンフットプリント（以下、CFP）算定のフォローや課題解決策の情報共有のワークショップを開催し、県内の自動車関連企業約30社が参加しました。実際に自社製品のCFP算定や、欧州電池規則対応のための資料作成を行った後、今後サプライチェーンや業界全体でCFP算定・削減に取り組む上でどのような制度や仕組みが必要か、ディスカッションを行いました。さらに、認証におけるポイントを認証機関より解説いただき、CFPに対する理解を深めることができました。

・採用市場へのブランディング

企業の魅力や社会的意義を採用コミュニケーションにどう落とし込むかを、CN活動に取り組む県内製造業の担当者と学生で議論するワークショップを開催しました。企業による自社PRプレゼンの後、学生との個別ワークを通じてキャッチコピーの評価や就職活動の価値観を共有し、採用メッセージのブラッシュアップを行いました。「CNは前面に押し出すより自然に組み込むことが効果的」などの示唆が得られ、企業にとって採用戦略のヒントを得る機会となり、学生にとっても企業理解を深める場となりました。

広島県では、今後も出会いと学びの場を提供し、県内企業のCN施策の前進と地域全体での取組の広がりを支援していきます。